

「歳末助け合いカンパ」 宮古地協として地域貢献活動！ 加盟組合員の思いを12月25日届ける!!

歳末助け合いカンパは、宮古地協独自で毎年組合員の皆さんから善意のカンパを承り、宮古地域の社会福祉協議会へ寄贈を行っている。

普段我々が地域福祉に深く携わることのできない状況もあり、諸先輩の方たちが相互互助の精神をもって始めた。

途中、東日本大震災津波の被害があり一時期滞ったが、震災後三年が過ぎたころから宮古地協の中で地域福祉の重要性を認識したことから、歳末助け合いカンパを再開することが了承され、寄贈に至った。

これからも地域貢献の思いを絶やさず、我々も一丸となってサポートしていきましょう!!(^ ^)!

以上のことから、12月25日、皆さんの善意の結晶を前期繰越金も含め宮古地協・山田地協両地協へ各90,000円を届けた。

今回集計カンパ金 総額170,063円

ご協力いただいた加盟組合

杜事労松山支部	5,700円
岩手高教組宮古支部	12,300円
JR東労組宮古連合分会	3,000円
足立労組	10,500円
東北電労宮古支部	3,000円
JP労組宮古支部	10,000円
日作労組	2,000円
宮古市職労	108,233円
岩教組下閉伊支部	11,330円
三陸生コン労組	3,000円
宮古地協事務局	1,000円



↑ 社会福祉法人 宮古市社会福祉協議会 赤沼正清会長(右側)へ宮古地協 東館清美副議長(中央)と佐々木正人事務局長(左側)より、カンパ金90,000円を寄贈した。

社会福祉法人山田町社会福祉協議会 沼崎弘明常務理事(右側)へ宮古地協 東館清美副議長よりカンパ金90,000円を寄贈した。



皆様のご協力に感謝いたします!!

12月12日宮古市から 連合「政策・制度要請」への回答届く！

政策制度要請概要

1. 労働者施策について

企業誘致、中小企業や地場産業の育成、雇用の創設、労働環境・福祉施設の改善整備、給与所得の向上、各種委員会など労働者代表を参加、東北労金との低利な提携融資・融資種類の拡充等

2. 公契約条例制定について

公共サービスの質、地域経済の活性化、など適正な賃金・労働条件確保等

3. 社会福祉・保健医療の拡充6について

生活困窮者対策、子どもの貧困対策、子ども食堂支援、児童虐待支援、障がい者支援、医師確保、医療・介護・保育職員の処遇改善等

4. 教育の拡充について

給付型・無利子奨学金の拡充、学校運営の十分な予算処置、教職員労働環境改善、カウンセラー増員、学校給食無料化等

5. 安心、安全のまちづくりについて

防災対策の一層の周知徹底、ブロック塀公共施設や民間施設の指導等

6. ハラスメント対策等について

パワハラ・セクハラ防止・LGBT、性的指向・性自認(SOGI)への偏見・差別解消等

連合発第79号
2018年10月15日

宮古市
市長 山本 正徳 様

日本労働組合総連合会岩手県連合会
宮古地域協議会 議長 花輪 政文

2019年度「政策制度要請」について

貴職におかれましては、日ごろ市政の発展と住民生活の向上にご尽力されていることに敬意を表します。

また、連合岩手並びに宮古地域協議会の活動と、労働者福祉の向上に対しご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、私たち連合は「働くことを軸とする安心社会」を構築するため、政策制度要求の実現に向け、連合本部・各地方連合会（連合岩手）・各地域協議会での運動を展開しております。

自治体を取り組む課題には、震災からの復興、人口減少や産業振興、住民福祉の維持向上等、多くの難しい現状があると認識しておりますが、安心して働き、暮らすことのできる地域社会を実現するため、以下のとおり要請いたしますので、2019年度予算をはじめ具体的な政策に反映していただきますようお願いいたします。

この件の担当
連合岩手宮古地域協議会
事務局長 佐々木 正人
電話 64-3090

秘 第 9 号
平成30年12月12日

日本労働組合総連合会岩手県連合会
宮古地域協議会議長 花輪 政文 様

宮古市長 山本 正徳



2019年度「政策制度要請」への回答について
このことについて、別紙のとおり回答いたします。

前回、2018年10月15日に宮古市長に対し2019年度「政策制度要請」を実施、過日12月12日 回答書が届き、内容を幹事会等で確認をいたしました。

内容等については、ニュースに記載するには多いことから、各単組へ回答書を配布いたします。

ご確認いただければ幸いです。

今後も「政策制度要請」について宮古地協としても地域課題等を継続して要請していくことといたしますので、皆さんからの声を伺えれば、大変助かります。

今後ともご協力をお願い申し上げます。



担当：企画部 秘書広報課 広報係 里見
TEL：0193-62-2111（内線4914）
FAX：0193-63-9114

お詫び

前回の宮古地協ニュースにおいて、第30回年次大会の前段で、「2018平和行動in広島」へ宮古地協から派遣をいたしました、県職労宮古支部「高橋 翔太」さんから平和行動への報告を頂いたことを記載していませんでした。

大変申し訳ありませんでした。

平和行動へ参加して平和への重要性和他単組の方との交流が勉強になったとの趣旨の報告を頂きましたことをご報告致します。

2019新春のご挨拶申し上げます。



連合岩手

会長 八幡 博文 よりご挨拶！

新年あけましておめでとうございます。本年も連合岩手に対するご厚誼のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、私からは新年にあたり所信を大きく三点について述べ、ご挨拶いたします。

その一つは、2019春季生活闘争についてであります。

今次春季生活闘争においても、2014年から5年間積み上げてきた「底上げ・底支え」「格差是正」を引き続き求めていく事とします。とりわけこの間重点的に取り組んできた、「大手追従、大手準拠などの構造転換」はもとより「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正配分」いわゆる大手・中小の「取引の適正化」の流れを継続そして前進させる取り組みを進めていきたいと考えます。特に2019においては、中小・非正規を含めた「賃金の額」いわゆる「水準」にこだわった交渉を展開していく事の重要性を訴えていきます。

我々を取り巻く環境については、アメリカと中国の貿易戦争を背景とした外的要因、今年10月からの消費増税の影響など不安要素があるのも事実です。内需のけん引役である個人消費を伸ばしていくためには、賃金の引き上げは必須条件、特に分厚い中間層の復活とあわせ普通に働くことで普通に生活ができる社会を構築、低所得者層の底上げは待ったなしであるものと認識します。

一方、人手不足はこれまで以上に加速していくものと想定され、この4月からスタートする働き方改革に関わる法施行とあわせ、多くの非正規の仲間が働いており、そのことを十分に意識した取り組みを行うことも今次春季生活闘争の大きな課題です。

これらの取り組みを通じ、組織化・組織拡大を推進しつつ、組織されていない労働者へ波及させることも、組織された労働者の代表である連合岩手に課せられた責務と認識し、内外の環境整備に取り組んでまいります。

その二つは、政治についてであります。

一昨年から続いている安倍総理周辺の様々な疑惑が放置されたまま、「働き方改革関連法」、「災害対応補正予算」の臨時国会の早期開催要請無視、外国人労働者の受け入れを含む「入管難民法」も、中身の無いまま強行採決。まさしく国会軽視であり、国民無視の政治と言っても過言ではない状況にあり、強い憤りすら覚えます。このような状況をつくり出しているのは、まさしく「安倍一強政治」のおごりであり、これに対抗するため、対峙する勢力を伸ばす以外に方法はありません。

そのためにも、今年施行される、参議院選挙と統一自治体選挙には絶対に勝たなければなりません。そのことが今の政治の流れを変えることにつながり、政治を私たちの手に取り戻す大きなチャンスでもあります。

とりわけ参議院選挙の勝利に向けて、各構成組織が擁立する比例区候補と選挙区の候補の一体的な取り組みが極めて重要となります。そして、岩手選挙区（一人区）は、現職に対するこれまで経過を忘れてはならず、私たちの思いとあわせ、良識ある県民の判断が試される選挙でもあると考えます。いずれその結果が、知事選、県議選等にも大きく影響していくことから、候補者擁立に向けた政党間の論議の加速を求め、今後も「応援団」としての必要な対応を行っていきます。

結びに、連合岩手は本年12月に結成30周年を迎えます。結成からこれまで諸先輩が大切に築きそれを受け継いできたこの組織を大切にしつつ、次の時代にしっかりと引き継いでいくため、さらなる組織力と発信力に磨きをかけ、「困っている人に寄り添い、そして解決に導く」その上で「世の中の不条理には毅然として闘う」を旗印に、連合が目指す「働くことを軸とする安心社会の実現」に向け、皆さんとともに運動を展開して参りたいと存じます。

今年1年も連合岩手に対するご理解ご協力をお願いし、新年のごあいさついたします。

「働くことを軸とする安心社会」へ共に頑張りましょう！

以上



連合岩手宮古地域協議会 議長 花輪 政文よりご挨拶！ 亥年の如く！

宮古地域協議会に加盟の組織・単組・組合員を始めとして関係各位に対しまして「2019新年あけましておめでとうございます。」今年1年がより良い年であることをご祈念申し上げます。

私も、宮古地協では皆さんのご協力を頂き、宮古地域において活発に活動の展開を図っているところでもあります。

連合岩手が発足し30年の節目を迎え、宮古地協も1年後に30年を迎えようとしております。その間の諸先輩方の並々ならぬご活躍があり、こうして活動が出来ていることを誇りに思うところでもあります。

今年は亥年、諸説ありますが、「何ごとにも熱心で勇気があり、やり遂げる」とのこと。『亥』という字は、いのししの象形文字で、ものごとの骨格や核を意味しています。全てが組み立てられた状態を意味しますので、12番目の干支とされたようです。

その文字の通り、「芯が強く滅多なことでは折れません。正義感が強く、弱者を守り強者にもひるまない強さを持っている」と言われています。

昨今の社会情勢は、皆さんもご承知の通り国内外で不安定な状況となっており、特に政府がやろうとしている法改正においては中身の無いものばかりで、将来が不安視されています。

そのような状況で宮古地協の活動は「働くことを軸とする安心社会」へ向けた取り組みであり、これから2019春季生活闘争を迎えますが、「春闘勝利！」へ協力体制を組み、中小・非正規を含めた「賃金の額」いわゆる「水準」にこだわった交渉を展開し、格差を解消し、それを足がかりにこれから行われる参議院議員選挙・各地方自治体選挙で、我々の推薦する候補者が勝利し、今の政治を変えることが重要です。

宮古地協は小さいけれど、連合岩手・近隣地協とも連携を図り、これからの労働運動が飛躍するために亥年の如く、自信をもって地域活動の展開を図ってまいります。

今後もより一層のご理解とご協力をお願いし、新年のあいさつに代えさせていただきます。

明日への飛躍へ！ 皆さんと共に頑張りましょう！

以上

民主教育をつくる県民集会IN 下閉伊実行委員会より 1月29日「教育を語る会」を開催！

2018年12月18日上記委員会を結成！

現在、宮古管内においては、復興が進む中で、人口流出・少子化等地域の課題が挙げられている、教職員の多忙化により「働き方」「ブラック部活」などの問題も取り上げられ、大きな社会問題となっています。それらを踏まえ、広くこの問題点を共有し運動につなげることとし、第一弾として「教育を語る会」を開催します。この会では主に高校再編となっていますので、興味のある方はご参集ください。

開催日時 2019年1月29日(火)

開催場所 シーアリーナ・フォーラム棟会議室

開催時間 18時30分～

※保護者の方にも声をかけていただければ幸いです。

連合宮古地協も後援をしております。

宮古地協
「2019新春旗開き会」
やります！

新年あけましておめでとうございます。
本年も一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今年は亥年の如く、法改正・参議院議員選挙・地方自治体選挙と世の中が大きく動き出すと予想され、連合でも「働くことを軸とする安心社会」の実現のため活発な活動を展開すべく、2019新春旗開きを開催いたします。各加盟単組には報告済みではありますが、再度お知らせいたします。

開催日 2019年1月23日(水)
開催場所 レストラン ほいた
開催時間 18時00分～
※多数の参加をお待ちしております！